

資料提供	
平成24年3月26日	
担当 (担当者)	文化財課 (原島)
電話	0857-26-7525

平成23年度地域伝統文化功労者表彰について

このたび、平成23年度地域伝統文化功労者表彰の被表彰団体が決定しましたので、下記のとおり表彰伝達式を行います。

記

1 被表彰団体

団体名・代表者	功績概要
<small>たかしろうしおいかけぶし</small> 倉吉市高城牛追掛節保存会 会長 <small>よしだ まさと</small> 吉田 正人	永年にわたり、倉吉市指定無形文化財「高城牛追掛節」の保存と継承に尽力し、地域に伝わる貴重な伝統文化の振興に多大な貢献を果たした。

2 表彰伝達式

- (1) 期 日 平成24年3月27日(火) 午前11時より15分程度
(2) 会 場 鳥取県庁第2庁舎5階 教育長室
(3) 伝 達 鳥取県教育委員会教育長より高城牛追掛節保存会代表者へ表彰状を伝達授与

3 表彰の概要

- (1) 表彰団体 公益財団法人伝統文化活性化国民協会(綿貫民輔理事長)
伝統文化の活性化を図り、日本の文化の向上に寄与することを目的に、平成13年度に設立された団体
(2) 趣 旨 伝統文化の振興、伝統文化団体の育成及び発展等に関し献身的な努力を払い、顕著な業績をあげた個人及び団体に対し、その功績をたたえるもの。
(3) 表彰実績 鳥取県では、一昨年受賞した淀江さんこ節保存会、昨年受賞した法勝寺歌舞伎保存会に次いで3件目。

(別紙) 被表彰団体の概要

1 団体名・代表者

倉吉市高城牛追掛節保存会 会長 吉田正人

2 指定等

昭和53年 倉吉市無形文化財に指定

3 伝統文化の概要

高城牛追掛節は、伯耆大山の博労座で牛市の開催に伴い、牛の売買がまとまった時の祝いや、牛を追って道行く時に唄われた唄。その起源は、豊臣秀吉が大坂城を築いた際、諸国から集められた多くの人夫が、大きな石や材木を牛に引かせて運ぶのに疲れ果ててしまった時、伯耆頭の孫四郎が牛を追いながら唄った音頭風の唄とされる。

近年は、ただ唄を歌うだけではその情景が分かりにくいことから、大牛・子牛とその用具、追い子の衣装を整えた。舞台上では、朗々とした唄が響くなか、嫌がる牛を追い子がうまくさばいて動く様子を演出し、牛が身近でなくなった世代にも、唄の様子が目でみてよく分かれると好評を博している。

4 保存会の活動

牛市の衰退に伴って、一旦は唄も廃れかけていたが、昭和3年、第3回郷土舞踊民謡大会が東京で開催されるのを機に、牛追掛節が高城地区で継承されていることが分かり、当時の高城地区の青年たちを中心に保存継承の動きが起こった。その後、和牛振興に伴い、昭和30年代初期に保存会が設立され、土曜夜市等各地のイベントに出演。昭和53年に倉吉市無形文化財に指定されたが、歌い手が一人という現状が続き、平成10年には活動が困難となる。しかし、平成14年には新しいメンバーを加えて再結成し、以後、地区の公民館を中心として保存継承に努めている。